

講演テーマ

学校は誰のためにあるのか インクルーシブ教育の視点で考える 「分けない学び」

東京大学大学院教育学研究科
総合教育科学専攻

小国 喜弘 教授

兵庫県生まれ。東京大学大学院で博士(教育学)を取得。成城大学、東京都立大学、早稲田大学を経て現職。
専門は日本教育史・インクルーシブ教育。著書に『戦後教育史』(中公新書)、『「みんなの学校」をつくるために』(小学館)、
『障害児の共生教育運動』(東京大学出版会)など。

インクルーシブ教育は、すべての子どもが共に学ぶ権利を保障する教育のあり方です。
しかし日本では、依然として「特別支援教育」という名の分離が続き、国連からも批判を受けています。
本講演では、国際的な潮流と日本の現状を踏まえ、
「共に生きる力」を育む学校のあり方と、教育制度の再構築に向けた課題を考えます。

2026年 **2月7日(土)** 13:30 ▶ 16:00
開場は13:00からとなります

会場

京都弁護士会館 地階大ホール

市民の裁判を受ける権利を守るために

市民のつどい

第30回

法律援助を広げる



ミニコンサート

フルートとベース音が語る「いのちの対話」

Kaai(橋本可愛)

フルーティスト/サウンドセラピスト

幼少期から音楽と舞台に親しみ、12歳でフルートを始める。瞑想やヨガを学びながら独自の奏法を追求し、伊勢神宮など全国で奉納演奏を実施。透明感と温もりを併せ持つ音色で、心に静かな癒しを届けている。

トシキヨ(南 利潔)

Bass / 人生設計サポーター®

目には見えない「想い」を音に込め、人の心を豊かにしたいと願うベーシスト。フルートとベースの響きが重なるとき、音は「いのち」を語りはじめる。その願いを形にするため「VITA」を結成し、音で人生と経営を応援している。



VITA

フルートとベース
音が語る
「いのちの対話」



TOSHIKIYO

参加費
無料

事前申込
不要

プログラム

- 人権救済基金制度の説明(約5分)
- 事例報告(約20分)
- ミニコンサート(VITA:橋本可愛さん、南 利潔さん)
- 小国教授による講演(約1時間)

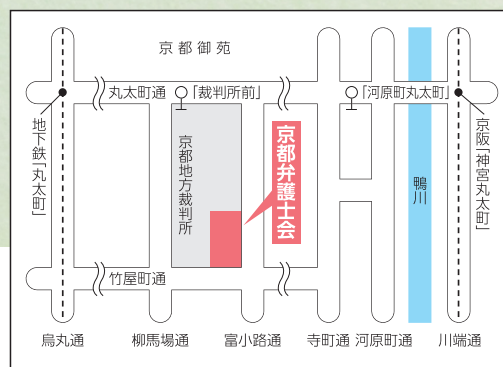


京都弁護士会
KYOTO BAR ASSOCIATION

お問合せ

075-231-2378

〒604-0971 京都市中京区富小路通丸太町下ル



主催：京都弁護士会 後援：京都府、京都市、京都地方検察庁、京都府社会福祉協議会、京都市社会福祉協議会、京都新聞、KBS京都、日本司法支援センター京都地方事務所